

# 第1回正札シールラベルコンテスト2020

## 実施要項(応募の手引き)

東京都正札シール印刷協同組合  
技術委員会

応募資格：東京都正札シール印刷協同組合員・会友に限る。

応募規定：巻取り原反で印刷又は加工し、通し回数3回以内で作製した作品  
大きさは原則としてB5版以内とする。

- 応募部門：①レタープレス印刷部門（平圧式凸版印刷機）  
箔押し・エンボス加工も含む  
②レタープレス印刷部門（輪転または間歇式凸版印刷）  
箔押し・エンボス加工も含む  
③オフセット印刷部門  
箔押し・エンボス加工も含む  
④デジタル印刷部門（インクジェット・レーザープリンタ他）  
⑤アイデア開発部門（機能性・新規性・創造性をアピールする作品）

応募作品：自由課題とする  
応募作品が難しい会社は全日シールラベルコンテストで使用した規定課題  
データを使用、アレンジして提出する事（[HPよりダウンロード](#)）  
**上記をクリックして下さい**

応募点数：1社2作品を上限とする（系列会社も含める）

- 応募方法：①応募者は作品を期限以内に正札シール組合事務局に送付する。※持込可  
【住所】〒110-0014 台東区北上野2-25-4 東京シール印刷会館  
②応募用紙を組合HPよりダウンロードして応募用紙に必要事項を記入し作品  
をセパレータごと貼り付けたもの2部。（審査会で主に使用する）セパの張り替  
えは失格とします。  
③シートでの提出でお願い致します。（20枚程）

審査方法：審査は1次審査・2次審査を行い、各賞を決定します。  
1次審査：理事長・理事・青年部・協賛会10名によって採点します。  
採点方法は1作品1人0点～5点×10人の合計点で決める。

- ①レタープレス印刷部門（平圧式凸版印刷機）②レタープレス印刷部門（輪転または間歇式凸版印刷）⇒6作品  
③オフセット印刷部門⇒2作品  
④デジタル印刷部門（インクジェット・レーザープリンタ他）⇒4作品  
⑤アイデア開発部門（機能性・新規性・創造性をアピールする作品）⇒3作品  
合計15作品を選定する。

2次審査：組合事務所に展示、訪問者が採点する（見学者は何人でもよいが採点者は1社1人とする）

採点は2作品迄、各1点で投票。

審査結果：1次審査・2次審査の合計得点より

①②部門3作品 ③部門1作品 ④部門1作品 ⑤部門1作品  
デザイン部門3作品 合計9作品を受賞作品とする。

授賞：正札理事長賞 1作品（5万円相当の商品券）  
技術委員長賞 1作品（5万円相当の商品券）  
協賛会賞 1作品（5万円相当の商品券）  
優秀賞 3作品（各3万円相当の商品券）  
デザイン賞 3作品（各1万円相当の商品券）  
（新規性・創造性・付加価値が有るデザイン）

※授賞順位は点数制で決める

日程：コンテスト募集公開日 2020年1月上旬

メーリングリスト・FAXで募集開始致します。

受付開始：2020年1月14日（火）

応募締切：2020年2月28日（金）正札事務局に必着

※上記応募規定に適合した作品を〆切り前に正札事務局に到着させること。

〆切り日に遅れないよう宜しくお願い致します。

1次審査：2020年3月11日（水）

2次審査：2020年3月12日（木）～26日（木）締め切り、開票、決定。

発表：2020年4月6日（月）メーリングリスト・FAXで発表

表彰式：2020年5月22日（金）第69回通常総会日

注意事項：①出品に際しては著作権、版權、特許等で後日各方面との間で（クライアント、ユーザー、同業者間など）法律上の問題が生じぬよう、各方面の了承を得るなど細心の注意をお願いします。 万一、特許侵害、著作権侵害など、法律上のトラブルを生じた場合、その責任は出品社が負うものとします。

②応募作品は返却できません。

## 第一次審査 審査基準

### 審査基準（レタープレス印刷・オフセット印刷）

- ①見当精度：ズレが肉眼でも見える程ははっきりしているもの
  - ルーペで見るとズレが判るもの
  - 印刷の品質にかかわる程のズレが認められないもの
- ②画線のシャープさ：画線のまわりにマージナルゾーンが肉眼でも認められるもの
  - 画線のまわりに多少のマージナルゾーンがあるもの
  - 画線の境目がくっきりとしているもの
- ③網点とグラデーション：網点の埋まりが著しいもの
  - グラデーションがはっきりとぎれているもの
  - 網点のハイライト部分に多少マージナルが認められるもの
  - ダーク部分で多少網点が埋まっているもの
- ④インキのノリとムラ：ベタ部分にムラが肉眼で認められるもの
  - 1枚のラベルで明らかにインキの濃淡が認められるもの
  - ルーペで見て多少ムラが見える程度のもの
  - ムラが認められず、濃度がしっかり出ているもの
- ⑤デザイン：デザイン性に優れている
  - 色のバランスが整っている
  - シールラベルとして付加価値が高い

### 審査基準（デジタル印刷）

- ①見当精度：ズレが肉眼でも見える程ははっきりしているもの
  - ルーペで見るとズレが判るもの
  - 印刷の品質にかかわる程のズレが認められないもの
- ②画線のシャープさ(解像度)：画線の境目が肉眼でギザギザに見えるもの
  - 画線の境目がルーペで見るとかなりギザギザに見えるもの
  - 画線の境目が割合にくっきりとしているもの

- ③インキのノリとムラ：インキの濃い部分に細かい筋が肉眼で見えるもの  
インキの濃い部分にルーペで見ると筋がみえるもの  
ムラが認められないもの

審査基準（アイデア開発部門）

- ①独創性：従来の製造方法からさほど進歩が見られないもの  
よく工夫された方法で作られているもの  
複数の新しい工夫が認められるもの
- ③新規性：聞いたことはあるが見るのは初めて  
聞いたこともなく、初めてお目にかかるもの
- ④機能性：機能を持っていない  
ラベルに機能性が認められるもの  
機能性があり、特許出願等の記載があるもの
- ⑤実用性及び用途：実用に適さない  
用途の記入があるが、まだ使われていない。